

原文

その後さらに、チベット=ビルマ系民族やタイ族^{Thai}の南下が続き、その動きは 13 世紀ころまで続いた②。

②これらの民族との関係は不明であるが、ドンソン文化と呼ばれ、ベトナム北部からインドネシアまで分布する青銅・鉄器文化があり、前 3 世紀ころのものと考えられている。

[関連修正] 64 頁 12～18 行

(理由：ドンソン文化の説明を適切な箇所に記述するため。)

メコン川デルタの遺跡からはローマの金のメダルや……東西交渉の波にのって伝わってきたインド文化の強い影響のもとに国家を形成していったことを示している。

本文では東南アジアにおける諸民族の移動が記述されているのに対し、脚注②ではドンソン文化が説明されているため、本文と脚注との相互の関係が不適切である。

修正文

削除

削除

[関連修正]

メコン川デルタの遺跡からは、後漢の青銅鏡^{ごかん せいどうきょう}に加えて、ローマの金のメダルや……東西交渉の波にのって伝わってきたインド文化や北方の中国文化の強い影響のもとに国家を形成していったことを示している②。

②前 4 世紀ころからベトナム北部に、中国の雲南^{うんなん}地方とも関係をもつ、ドンソン文化と呼ばれる青銅・鉄器文化が発達し、その影響は紀元前後の時期までに東南アジアの広域にひろがった。それは各地での国家形成^{こくけん}に貢献したものと推定される。